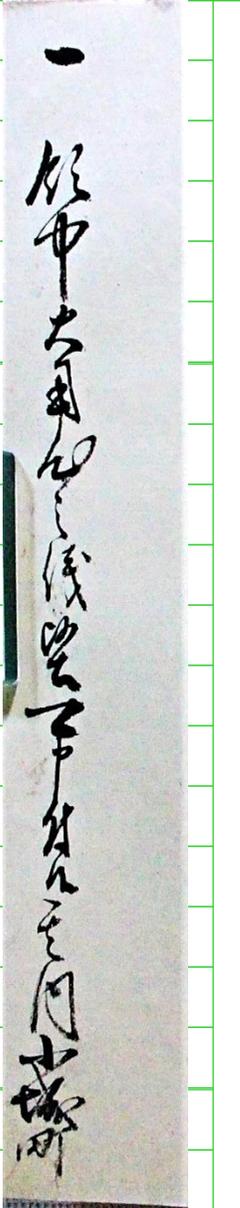
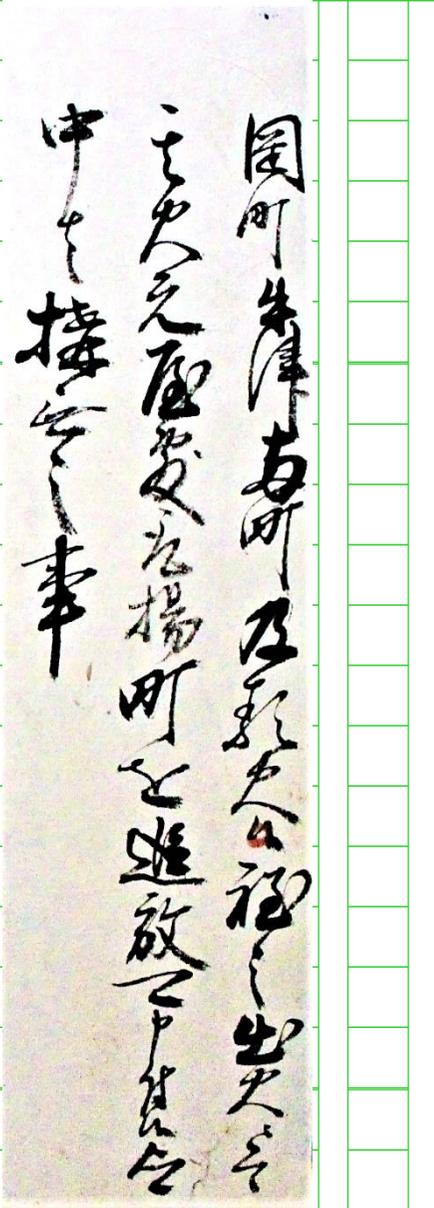


<p>・本資料は古文書講座テキスト第4回及び第</p>	<p>5回配布分の釈文で、講座終了後訂正したも</p>	<p>のである</p>	<p>・原稿用紙各頁先頭の番号はテキストの頁番</p>	<p>号に対応する</p>	<p>令和元年度第七回講座（十月十二日）①</p>		<p>49</p>	<p>一領中火用心之儀堅可申付候、其内小城町</p>		<p>50-1</p>	<p>岡町牛津両町及類火程之出火ニ候ハ、其火</p>	<p>元屋敷取揚町を追放可申付候、郷中者構無</p>	<p>之事</p>
-----------------------------	-----------------------------	-------------	-----------------------------	---------------	---------------------------	--	-----------	----------------------------	---	-------------	----------------------------	----------------------------	-----------

所より火出るる大木は格別  
に候し其自火付火等之分り入念  
可相改事

50-2

附りさし火等二而及大火候節ハ格別之儀  
候条、自火付火等之分り入念可相改事

一 屋敷小路廻り道橋掃除等見分且又所々且又  
山里ニよらす諸木を植立、或ハ水流之損益  
開所都而ケ様之儀当末勝手ニ相成候義、  
具旁見立方役可令了簡候、右役馬上以下之  
侍式人可申付置候事

50-3

一 屋敷小路廻り道橋掃除等見分且又所々且又  
山里ニよらす諸木を植立、或ハ水流之損益  
開所都而ケ様之儀当末勝手ニ相成候義、  
具旁見立方役可令了簡候、右役馬上以下之  
侍式人可申付置候事

一 諸物頭隱居又ハ死去或ハ謂有之組取上候節  
余人江相預候義、於延引者先以其一手之大  
物頭令心遣家老相談

50-4

一 諸物頭隱居又ハ死去或ハ謂有之組取上候節  
余人江相預候義、於延引者先以其一手之大  
物頭令心遣家老相談

一 諸物頭隱居又ハ死去或ハ謂有之組取上候節  
余人江相預候義、於延引者先以其一手之大  
物頭令心遣家老相談

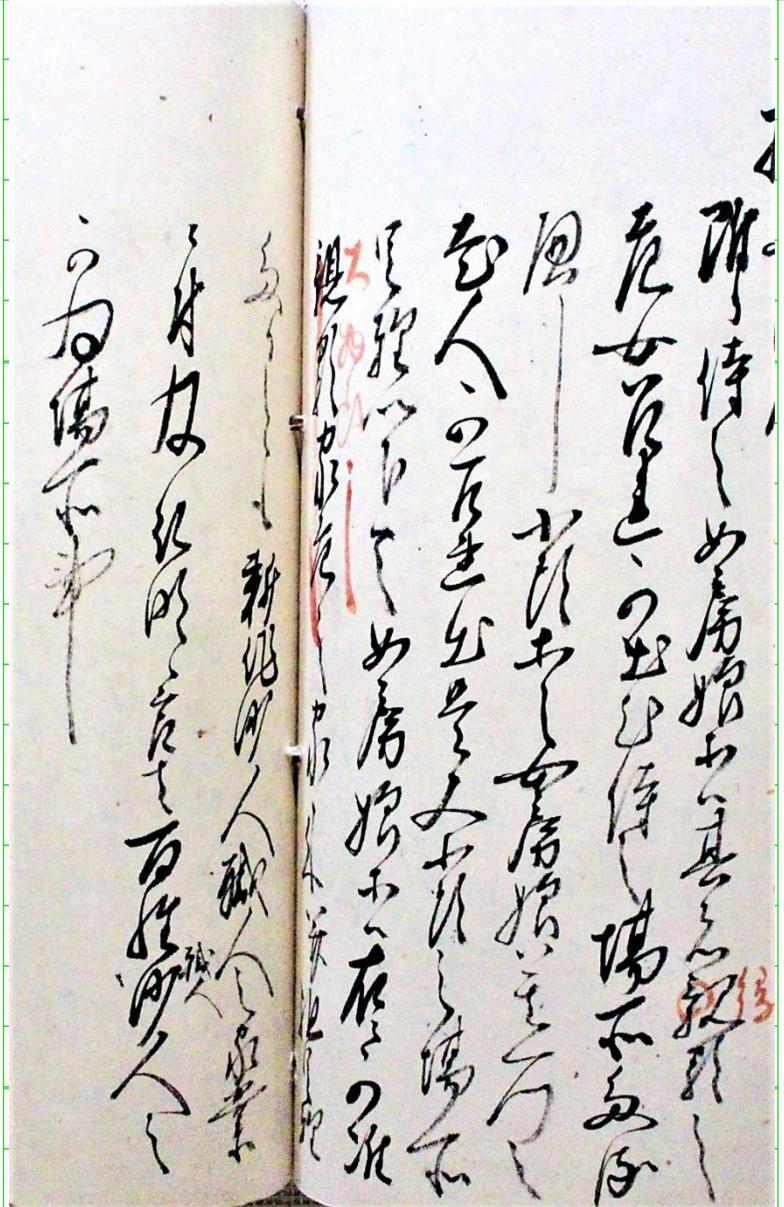
51-1

之上其手之番頭並諸物頭之内江相預置候様  
可申付、在府之節ハ、弥右之通申付候上我  
等江可申聞事









52-2

附り侍之女房娘等ハ其者縁類之老女召連

可出、尤侍之場所たるへし、小頭等

之女房娘ハ其一門之老人可召連出、

是又小頭之場所、足輕以下之女房娘

等ハ右ニ可准、大物頭之家来並組足

軽たりとも耕作町人職人之家業ニ付

及**糺**明候節者百姓職人町人之可為場

所事









53-3

一 究役、馬乗以上之侍式人、馬乗以下之侍三人、筆者小頭式人、兼而以神文可申付置事

附札 当時ハ馬乗以上方壺人馬乗以下方令

申付置候人数相増候ハ而不叶節ハ臨

時ニ可申付事

一 哮問対決之儀ハ我等可申聞









一 侍裁許申付候節切腹生害其外牢人迄者直之  
 書付を以可申渡、知行減少其外輕義ハ我等  
 申付候旨家老方書付を以申渡、小頭以下者  
 不依輕重我等申付候旨家老方書付を以可申  
 渡候、尤死罪之儀者下々たりとも直之書付  
 を以可申渡事

一 知行切米減少、或ハ閉門蟄居其外之科申付  
 候儀馬乘以下之侍手頭を讀惣目附可

55-2

申渡、小頭以下たりとも可為同様、尤申渡  
候場所之義者士小頭歩行足輕ハ寄親宅之事

56-1

申渡、小頭以下たりとも可為同様、尤申渡  
候場所之義者士小頭歩行足輕ハ寄親宅之事



一 主従式拾八人ツ、三百石以上親類中  
一 同 三拾五人 七百石以上右同

56-3

一 主従式拾八人ツ、三百石以上親類中  
一 同 三拾五人 七百石以上右同

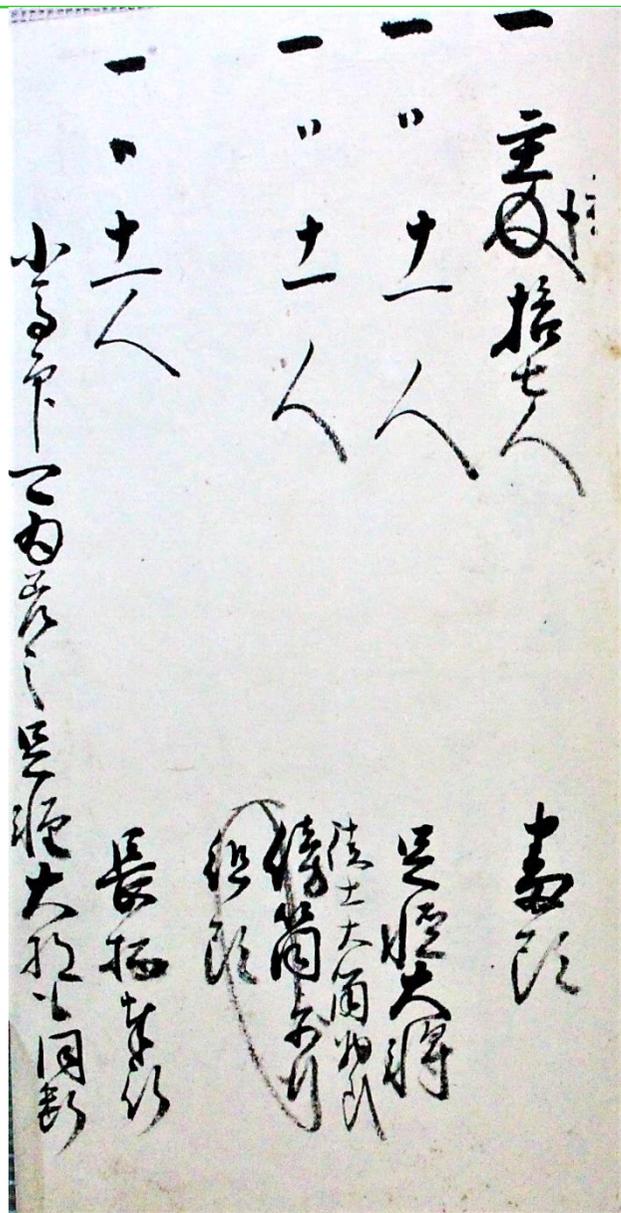
一 同式拾八人ツ、大物頭家老中  
但身しんしん上之高下二不拘大物頭職二付而之人  
数定也

57-1

一 同式拾八人ツ、大物頭家老中

但身しんしん上之高下二不拘大物頭職二付而之人  
数定也





57-3

一主 従

拾七人

番頭

一〃

十一人

足輕大将

一〃

十一人

徒士大筒物頭

一〃

十一人

長柄奉行

小馬印可為差之足輕大将も同断









一 組分人数配之義、組替二付時、相改不慮之  
 節家中混雜騒動無之様可仕事

一 船一通諸道具小破之時、加修理船頭並役人  
 共銘〃家業無怠可相守旨、船奉行として無  
 間断申付候様可仕事

一 毎年家中乗馬並馬具究相違あるましき事

一 組分人数配之義、組替二付時〃相改不慮之  
 節家中混雜騒動無之様可仕事

一 船一通諸道具小破之時、加修理船頭並役人  
 共銘〃家業無怠可相守旨、船奉行として無  
 間断申付候様可仕事

一 毎年家中乗馬並馬具究相違あるましき事

60-1

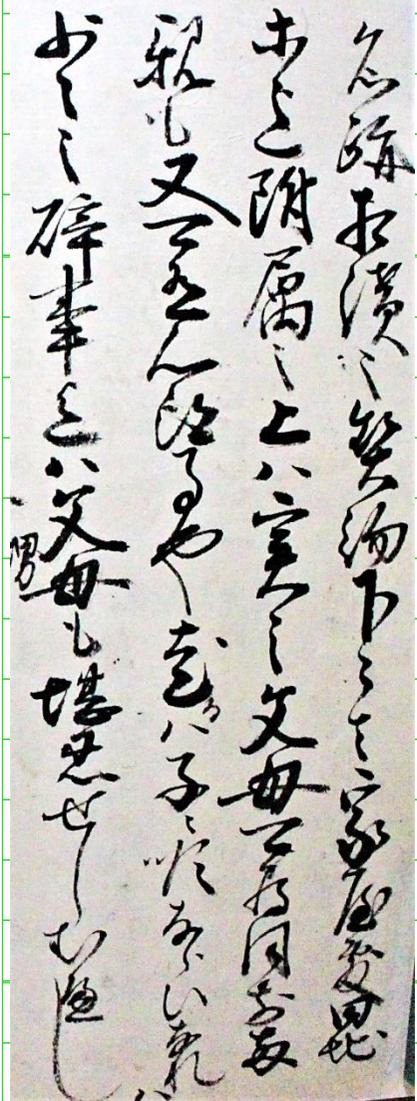
一	組分人数配之義、組替二付時〃相改不慮之
一	節家中混雜騒動無之様可仕事
一	船一通諸道具小破之時、加修理船頭並役人
一	共銘〃家業無怠可相守旨、船奉行として無
一	間断申付候様可仕事
一	毎年家中乗馬並馬具究相違あるましき事
一	組分人数配之義、組替二付時〃相改不慮之
一	節家中混雜騒動無之様可仕事
一	船一通諸道具小破之時、加修理船頭並役人
一	共銘〃家業無怠可相守旨、船奉行として無
一	間断申付候様可仕事
一	毎年家中乗馬並馬具究相違あるましき事











名跡相續之契約下ニ者家屋敷田地等迄附属  
事也、老るハ子ニ順ならひなれハ少ク之碎  
事迄ハ父母も堪忍せしむへし

G2-1

名跡相續之契約下ニ者家屋敷田地等迄附属  
之上ハ実之父母可為同前兩親も又可有心得  
事也、老るハ子ニ順ならひなれハ少ク之碎  
事迄ハ父母も堪忍せしむへし

【三月講座は、新型コロナウイルス感染症対策  
のため、休講しました】